※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『高校日本史Ｂ』（清水書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近代化のもつ意味に関心を持ってもらいたい。
・歴史的事象に「なぜ」の視点をもってもらいたい。
・欧米諸国はもちろんだが、それ以上に東アジア近隣諸国との歴史的関係に関心を持ち、これからの日本のあり方を考えてもらいたい。
・ワークシートやノート、レポートなどの提出物をしっかりと仕上げてもらいたいたい。

２　学習の到達目標

・わが国近世における歴史的発展と世界史状況をふまえて、明治以降の近代的発展を総合的に理解できること。
・近代以降のわが国の歴史的発展が、東アジア近隣諸国に与えた影響について、深く理解できていること。
・これからの国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質が育っていること。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近代以降の国際社会の中で発展したわが国の歴史を理解し、日本国民として国際社会に貢献できる主体性と協調性を育まれているか。	わが国の近代化過程から課題を見いだし、国際環境と関連づけて多面的･多角的に考察することで、国際社会の変化に対応して公正な判断を行い、その過程や結果を適切に表現できる力を育まれているか。	わが国における近代国家の形成と展開に関する諸資料を収集し、その内容の適切な選択のもと、資料のもつ意義を読みとる力、図表などにまとめられる力が育まれているか。	わが国の近現代史の展開過程について、基本的な事柄を国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を見つけているか。
評価方法	授業での観察 ワークシート レポート作成提出	定期考査 ワークシート ノートの提出状況 レポート作成提出	定期考査 ワークシート ノートの提出状況 レポート作成提出	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	統一政権の成立と幕藩体制の展開	1．大航海時代と日本 ２．織豊政権の成立と諸政策 ３．江戸幕府の成立 ４．幕藩体制の支配構造 ５．近世身分制の成立と鎖国 ６．幕府政治の転換 ７．産業の発達と交通・都市 ８．享保の改革と田沼の政治 ９．商品経済の発達と社会の変化 １０．寛政の改革と異国船の接近 １１．大塩の乱と天保の改革 １２．近世文化の展開と民衆文化	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:近世の国家、社会や文化の特色への関心を深め、意欲的に追求しているか。 b:近世の国家、社会や文化の特色をヨーロッパとの文化接触や中国韓国との関係に加えて、現代との比較も考慮して多面的多角的に考察できているか。 c:近世の国家、社会や文化の特色に関わる諸資料を文書や記録にとどめず、文学や伝統芸能、建築遺構などにまで幅広く収集し、適切に理解できているか。 d:近世の国家・社会の形成とその特色を、日本国内の事情のみにとどめず、ヨーロッパ諸国との接触や東アジア近隣諸国との交流も視野に入れた上で理解し、基礎的な知識を身につけているか。	定期考査 ワークシート ノートの内容 レポート内容

※令和３年度以前入学生用

1学期	大日本帝国の形成	１．開国と社会の変動 ２．尊王攘夷から倒幕へ ３．明治維新と新政府の成立 ４．文明開化と復古 ５．地租改正と富国強兵 ６．アジア外交と国境問題 ７．民権思想と国会開設運動 ８．私擬憲法と政党の結成 ９．松方財政と民権運動の激化 １０．大日本帝国憲法の制定	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 近代国家の形成と社会・文化の特色について深い関心を持ち、現代との比較において理解する課題意識を育めているか。 b: 明治維新以降のわが国の近代化推進過程から、欧米諸国の影響はもちろん、近隣東アジア諸国との国際関係の変化をふまえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:近代国家の形成と社会・文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択しているか。 d: 明治以降のわが国の近代化推進過程について、欧米との接触過程はもちろん、国内情勢の変化と東アジア諸国との諸関係をふまえて、基礎的な知識が整理されているかどうか。	定期考査 ワークシート ノートの内容 レポート内容

※令和３年度以前入学生用

２学期	大日本帝国の展開	１．条約改正と立憲政友会の結成	○			○	a:立憲主義の確立と産業革命の発展を基礎に、日本帝国主義が形成されてくる過程について、関心と課題意識を高め、意欲的に追求しているか。 b:政党政治の発展と大衆社会の形成を背景に、国内政治や社会運動、都市の発達と農村の変容、第１次世界大戦前後の国際関係、特に東アジア近隣諸国との関係などを多面的、多角的に考察し、その過程や結果を公正な判断のもと適切に表現しているか。 c:近代国家の展開と社会・文化の特色を、当時の記録や文書に限らず写真や動画などにまで対象を広げ、情報を読みとったり図表にまとめたりしているか。 d:日本帝国主義の形成にともなう国内外の基本的な事柄を、東アジア近隣諸国からの視点とわが国からの視点を意識した上で総合的に理解し、その知識を身につけているか。	定期考査 ワークシート ノートの内容 レポート内容
		２．朝鮮政策と日清戦争		○		○		
		３．日清戦争後の東アジア		○		○		
		４．日露戦争と朝鮮		○		○		
		５．朝鮮の植民地化		○		○		
		６．産業革命と社会問題	○		○			
		７．欧米文化と伝統文化の交錯	○		○			
		８．大正デモクラシー	○	○				
		９．第１次世界大戦		○		○		
		１０．第一世界大戦後の世界		○		○		
		１１．日本資本主義の成長	○		○			
		１２．米騒動と社会運動			○	○		
		１３．普通選挙法と治安維持法	○		○			
		１４．大正デモクラシーと文化	○		○			

※令和３年度以前入学生用

２学期	十五年戦争と日本・アジア	１．侵略戦争への序幕 ２．満州事変と「満州国」 ３．日中戦争 ４．第２次世界大戦と日本 ５．アジア太平洋戦争 ６．戦時下の文化と国民生活 ７．日本の敗戦	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:日本の侵略戦争とその拡大、敗戦に及ぶ歴史過程に対する関心と課題意識を高めているか。 b:十五年戦争から敗戦に至る歴史過程をわが国の立場のみならず、アジア近隣諸国からの視点も意識した上で、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化をふまえて公正に理解して、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:戦時体制下の国家・社会・文化に関する諸資料を、活字資料に限らず、写真・音声記録も含めて、幅広く収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとったり、図表などにまとめたりしているか。 d:十五年戦争から敗戦に至る歴史過程に関する基本的な事柄を、アジア近隣諸国からの視点もふまえて、総合的に理解し、その知識を身につけているか。	定期考査 ワークシート ノートの内容 レポート内容

※令和３年度以前入学生用

３学期	戦後改革と高度経済成長	１．戦後世界と日本国憲法・民主主義体制 ２．戦後改革の転換 ３．経済復興と再軍備 ４．サンフランシスコ平和条約の締結と日米安保体制の成立 ５．高度経済成長と公害 ６．ベトナム戦争と沖縄問題	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:現代社会の起源である戦後社会の再出発に対する深い関心と課題意識を育めているか。 b:占領期から朝鮮戦争、独立から安保体制を経て高度経済成長に至る歴史過程から、現在につながる課題を見いだし、国際社会の変化をふまえた上で公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:敗戦後から高度成長期に至る時代の諸資料を、活字資料に限らず、写真・流行歌など音声資料も交えて、幅広く収集し、有用な情報を適切に選択して、読みとったり、図表などにまとめたりしているか。 d:敗戦後から高度経済成長に至る歴史過程の基本的な事柄を、科学技術の発達と経済の国際化の視点から、総合的に理解し、その知識を身につけているか。	定期考査 ワークシート ノートの内容 レポート内容

※令和３年度以前入学生用

３学期	現代の世界と日本	１．低成長への転換から経済大国へ ２．経済大国日本と国際社会 ３．湾岸戦争後の世界と日本 ４．バブル崩壊と政界再編 ５．21 世紀の世界と日本	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○	a:低成長時代から経済大国化を経てバブル崩壊に至る現代の歴史過程から、21 世紀のわが国あり方に深い関心と課題意識を育めているか。 b:低成長時代からバブル崩壊へ至る過程から課題を見いだし、東アジア近隣諸国の視点もふまえた上で、多角的・多面的に考察するとともに、国際社会の変化もふまえて、公正に判断し、その理解を適切に表現できているか。 c:低成長時代から現在に至る諸資料から、まわりの人のオーラルヒストリーなど身近なリソースも含めて幅広く収集し、情報を読みとったり、図表にまとめた入りできているか。 d:日本経済の変容と国民生活の変化についての基本的な事柄を、バブルの発生と崩壊を軸に総合的に理解し、その知識を身につけているか。	定期考査 ワークシート ノートの内容 レポート内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。